



2024年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年9月14日

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3134 URL <https://hamee.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水島 育大
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 富山 幸弘 (TEL) 0465-42-9181
 四半期報告書提出予定日 2023年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(2023年9月15日に当社ウェブサイト
<https://hamee.co.jp/ir/library/video>)にて決算概
 要を説明した動画を掲載する予定です。)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第1四半期の連結業績(2023年5月1日~2023年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第1四半期	3,316	6.8	174	△29.9	203	△31.4	△132	—
2023年4月期第1四半期	3,106	18.7	248	△24.3	296	△14.7	206	△18.7

(注) 包括利益 2024年4月期第1四半期 147百万円(△57.5%) 2023年4月期第1四半期 346百万円(37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第1四半期	△8.33	—
2023年4月期第1四半期	13.02	13.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第1四半期	12,350	8,741	70.0
2023年4月期	12,320	8,960	72.0

(参考) 自己資本 2024年4月期第1四半期 8,648百万円 2023年4月期 8,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2024年4月期	—	—	—	—	—
2024年4月期(予想)	—	0.00	—	22.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日~2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,813	19.8	2,086	64.1	2,069	47.8	1,537	62.7	94.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年4月期1Q	16,280,000株	2023年4月期	16,280,000株
② 期末自己株式数	2024年4月期1Q	363,737株	2023年4月期	363,737株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年4月期1Q	15,916,263株	2023年4月期1Q	15,899,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、6月の日銀短観によると大企業全産業のDI（業況判断指数）がプラス13と、前回調査（3月）から3ポイント増加するなど、一段と社会経済活動の正常化が進んだことが景況感の改善につながる一方で、円安やウクライナ情勢を背景に原材料価格やエネルギー価格の高騰による製造業等の業績悪化懸念は払拭されておらず、依然として先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。

このような経営環境の下で、当第1四半期連結累計期間における当社グループのセグメントごとの経営成績は次のとおりとなりました。

① コマースセグメント

a. モバイルライフ事業

iPhone以外の機種向け商品や、市場トレンドを取り入れた新商品の開発スピードの向上に取り組むほか、有力IPとのコラボレーション企画など主力商品であるiFaceシリーズの拡販に注力する、という期初の計画にもとづき各種の施策を積極的に展開いたしました。具体的には5月にGoogle Pixel専用iFaceをリリースしたほか、人気キャラクターとiFaceのコラボ商品を発売。また、6月には人気のiFace Reflectionシリーズの新デザイン「Reflection Neo」を発売するなど、新商品の投入を継続的に行いました。これらの施策により、小売は引き続き伸び悩んだものの、卸販売の売上高は前年同期比10.1%増と回復傾向が見られました。

b.ゲーミングアクセサリ事業

価格と性能面のバランスが評価され、前期において順調に販売が拡大いたしましたが、当第1四半期については競合他社製品との競争の激化が見られました。当該状況を打破すべくゲーミングモニターの新商品をリリースすると同時に、オリジナルのモニターアームなど新商品を投入してトップラインの向上に努めましたが、売上高は前年同期比4.6%減となりました。

c. コスメティクス事業

2023年4月にTV番組で紹介されたことをきっかけに大躍進した前期第4四半期の好調さを維持しており、単月の売上高が1億円を超えるなど計画を上回る状態を継続しております。受注の集中によって前期末より在庫の欠品が生じ、6月中旬までバックオーダーを抱える形となりましたが、売上高は前年同期比13.3倍の317百万円と大幅に伸ばいたしました。また、ECモールでの飛躍的な注目度の向上を背景に卸取引も増加しており、今後は化粧品製造販売業許可の取得による利益率の改善も見込めるため、モバイルライフ事業に次ぐ収益の柱として注力してまいります。

d. グローバル事業

韓国市場、米国市場、中国市場ともにグループ外に対する売上高は増収（前年同期比17.3%増）となりましたが、商品ミックスの変化（売上原価率の高い商品の販売が増加していること）等に起因して売上総利益率が低下し減益となりました。

これらの結果、コマースセグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は2,537,599千円（前年同四半期比8.8%増）、セグメント利益（営業利益）は87,001千円（同45.5%減）となりました。

② プラットフォームセグメント

a. ネクストエンジン事業

前連結会計年度において認識した下記の経営環境の変化について、当第1四半期において大幅な改善は見られなかったものの、新規顧客の流入状況については回復の兆しが認められました。

i. EC市場における構造変化

コロナ禍でEC業界へ進出する事業者が増加したものの、プレーヤー増加による競争環境の激化によって、ブランド力や財務的に余力のあるEC事業者と、そうでない事業者との間の格差が広がり、業界として二極化が進んだ。

ii. コロナ禍で進んだ消費行動の反動

コロナ禍で消費行動のデジタルシフトが進んだが、ワクチン接種の浸透、重症者数の減少などを背景にリアル店舗での消費が増大傾向にあることや、自粛期間を経てモノ消費からコト消費（旅行やイベントなど）にシフトする傾向が強まったこと等、デジタルシフトの反動が顕著になった。

iii. EC事業者の喫緊の経営課題のシフト

上記を背景に、EC事業者の経営上の優先課題がバックオフィス業務の効率化から、売上極大化及び利益の確保へシフトしており、各種の業務効率化サービスの導入意欲が一時的に減退していると考えられる。

2023年6月に実施したサービス価格の改定により、EC販売における流通額が小規模な事業者様への間口が広がると同時に、従量課金の基礎となる受注処理件数の増加が利用料金に反映しやすくなりました。特に基本利用料を月額10,000円から3,000円に引き下げたことで、無料契約の申込が増加したこともあり、契約獲得ペースに回復が見られ、当第1四半期の契約純増数は145社となりました。また、7月には月間の契約獲得数としては過去最高の142社を記録しております。

なお、前連結会計年度に引き続いてECから撤退する事例が一定数認められるため、当第1四半期の解約率は0.94%となりました。

これらを背景として、ネクストエンジン事業の売上高は前年同期比5.1%増となりました。

b. コンサルティング事業

前期第4四半期に引き続きコンサルタントのリソース確保という経営課題に継続的に取り組んでおり、コンサルタント不足に起因する売上の減少に加え、不足するリソースの外注化による外注費の増加や人件費の増加により、利益面についても減益となりました。当面は人員確保と基盤整備を優先課題として捉え、来期から成長回帰できるよう体制強化に注力いたします。

c. ロカルコ事業

例年安定した寄付を得られていた返礼品のメーカーが、ロカルコ事業の契約自治体より撤退したことに起因する売上高の減少を、他の契約自治体に対する付加価値向上施策（返礼品の提案、サイトの改善等）によりカバーすることに尽力しましたが、売上高は前年同期比5.7%減となりました。

引き続き既存契約自治体への付加価値提供と新規自治体との契約獲得に注力してまいります。

これらの結果、プラットフォームセグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は781,711千円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント利益（営業利益）は349,116千円（同8.1%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,316,762千円（前年同四半期比6.8%増）、営業利益は174,163千円（同29.9%減）、経常利益は203,618千円（同31.4%減）、繰延税金負債の認識に伴い、親会社株主に帰属する四半期純損失は132,514千円（前年同四半期は206,986千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、繰延税金負債の認識につきましては、2023年9月14日公表の「繰延税金負債の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ29,734千円増加し、12,350,221千円となりました。これは主に、商品が281,670千円増加したこと、その他の流動資産が239,252千円増加したこと、原材料及び貯蔵品が45,559千円増加した一方で、現金及び預金が359,744千円減少したこと、連結子会社から当社への配当方針を変更したことに伴い繰延税金資産が230,768千円減少したこと、売上高増加により受取手形及び売掛金が15,182千円減少したことなどの結果によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ248,363千円増加し、3,608,349千円となりました。これは主に、短期借入金が増加した400,000千円増加したこと、買掛金が増加した111,034千円増加したこと、その他流動負債が増加した99,668千円増加した一方で、未払法人税等が360,795千円減少したこと、未払費用が10,778千円減少したこと、賞与引当金が10,515千円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ218,628千円減少し、8,741,872千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が260,674千円増加した一方で、利益剰余金が496,613千円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年6月14日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,535,669	3,175,924
受取手形及び売掛金	1,797,001	1,781,818
商品	1,643,852	1,925,522
仕掛品	10,658	11,773
原材料及び貯蔵品	35,569	81,128
その他	1,597,362	1,836,615
貸倒引当金	△38,135	△44,253
流動資産合計	8,581,977	8,768,529
固定資産		
有形固定資産		
建物	745,514	789,167
減価償却累計額	△129,270	△149,771
建物(純額)	616,243	639,396
車両運搬具	3,604	3,845
減価償却累計額	△863	△1,113
車両運搬具(純額)	2,740	2,731
工具、器具及び備品	1,040,999	1,149,508
減価償却累計額	△722,982	△839,665
工具、器具及び備品(純額)	318,016	309,843
使用権資産	355,894	385,139
減価償却累計額	△123,214	△159,333
使用権資産(純額)	232,679	225,806
土地	337,086	359,646
建設仮勘定	1,564	11,129
有形固定資産合計	1,508,332	1,548,553
無形固定資産		
のれん	490,930	496,218
ソフトウェア	305,312	301,639
商標権	15,219	16,371
その他	14,098	13,299
無形固定資産合計	825,562	827,528
投資その他の資産		
投資有価証券	550,030	577,577
関係会社株式	45,018	45,308
退職給付に係る資産	143,447	140,233
繰延税金資産	563,817	333,048
その他	118,340	126,496
貸倒引当金	△16,039	△17,054
投資その他の資産合計	1,404,614	1,205,610
固定資産合計	3,738,509	3,581,692
資産合計	12,320,486	12,350,221

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	166,048	277,083
短期借入金	1,300,000	1,700,000
未払金	862,932	860,086
未払費用	245,155	234,376
未払法人税等	438,653	77,858
賞与引当金	25,201	14,686
その他	198,268	297,936
流動負債合計	3,236,260	3,462,028
固定負債		
資産除去債務	11,341	12,100
繰延税金負債	—	21,689
その他	112,384	112,530
固定負債合計	123,725	146,320
負債合計	3,359,985	3,608,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,262	598,262
資本剰余金	543,737	543,737
利益剰余金	7,834,362	7,337,749
自己株式	△349,636	△349,636
株主資本合計	8,626,725	8,130,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,163	22,361
為替換算調整勘定	235,004	495,678
その他の包括利益累計額合計	238,167	518,039
新株予約権	95,608	93,721
純資産合計	8,960,501	8,741,872
負債純資産合計	12,320,486	12,350,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2023年7月31日)
売上高	3,106,139	3,316,762
売上原価	1,208,075	1,279,197
売上総利益	1,898,064	2,037,564
販売費及び一般管理費	1,649,742	1,863,400
営業利益	248,322	174,163
営業外収益		
受取利息	1,879	202
消費税差額	4	12,466
為替差益	41,051	11,164
その他	11,732	11,976
営業外収益合計	54,667	35,809
営業外費用		
支払利息	2,198	3,405
支払保証料	1,853	1,826
持分法による投資損失	1,832	595
その他	485	527
営業外費用合計	6,369	6,354
経常利益	296,620	203,618
特別利益		
固定資産売却益	307	—
新株予約権戻入益	—	1,887
特別利益合計	307	1,887
特別損失		
固定資産除却損	—	887
特別損失合計	—	887
税金等調整前四半期純利益	296,928	204,617
法人税、住民税及び事業税	29,242	77,164
法人税等調整額	60,698	259,967
法人税等合計	89,941	337,132
四半期純利益又は四半期純損失(△)	206,986	△132,514
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	206,986	△132,514

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2023年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	206,986	△132,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	237	19,197
為替換算調整勘定	139,262	260,674
その他の包括利益合計	139,500	279,871
四半期包括利益	346,486	147,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,486	147,357
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コマース	プラット フォーム	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	2,331,870	774,269	3,106,139	—	3,106,139
外部顧客への売上高	2,331,870	774,269	3,106,139	—	3,106,139
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,331,870	774,269	3,106,139	—	3,106,139
セグメント利益	159,748	322,841	482,589	△234,267	248,322

(注)1 セグメント利益の調整額△234,267千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コマース	プラット フォーム	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	2,537,385	779,376	3,316,762	—	3,316,762
外部顧客への売上高	2,537,385	779,376	3,316,762	—	3,316,762
セグメント間の 内部売上高又は振替高	213	2,335	2,548	△2,548	—
計	2,537,599	781,711	3,319,311	△2,548	3,316,762
セグメント利益	87,001	349,116	436,118	△261,954	174,163

(注)1 セグメント利益の調整額△261,954千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。